



平成22年8月30日
内閣府（防災担当）

平成22年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。
なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問い合わせ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 井上、宮崎、内山

電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

平成22年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

神戸大学名誉教授、関西学院大学教授

室崎 益輝

(兵庫県)

東京大学名誉教授

島崎 邦彦

(千葉県)

東京大学名誉教授

藤井 敏嗣

(東京都)

長崎大学教授

高橋 和雄

(長崎県)

○ 団体

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成21年4月山梨県甲州市棚横手山林野火災における消防団の災害出動)

甲州市消防団

(山梨県)

(平成21年中国・九州北部豪雨における消防団の災害出動)

篠栗町消防団

(福岡県)

佐賀市消防団中部方面隊第三支団

(佐賀県)

(平成21年8月豪雨における消防団の災害出動)

諏訪市消防団

(長野県)

(平成21年中国・九州北部豪雨における災害警備活動)

山口県警察災害警備本部

(山口県)

福岡県警察災害警備本部

(福岡県)

(平成21年台風第9号における災害派警備活動)

兵庫県警察災害警備本部

(兵庫県)

(平成21年第一幸福丸消息不明事案における海難救助活動)

海上保安庁第三管区漁船第一幸福丸消息不明海難対策本部

(神奈川県)

及び横浜海上保安部巡視船いず潜水土

(平成21年フェリーありあけ船体傾斜海難における海難救助活動)

海上保安庁第四管区フェリーありあけ熊野沖船体傾斜海難対策本部

(愛知県

及び関西空港海上保安航空基地機動救難士

、大阪府)

〔防災体制の整備〕

北条地区コミュニティ振興協議会

(新潟県)

社南地区防災アマ無線クラブ

(福井県)

恵那市手話通訳連絡会

(岐阜県)

紀の川市立荒川中学校

(和歌山県)

丸亀市川西地区自主防災会

(香川県)

以上 4個人 14団体

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	むろさき よしてる 室 崎 益 輝
住 所	京都府京都市
職 業	神戸大学名誉教授、関西学院大学教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、防災研究の第一人者として、優れた研究成果を残しているだけでなく、地震に関する教育や普及活動においても積極的な活動を続けている。</p> <p>また、日本災害復興学会や地域安全学会などにも所属し、特に日本災害復興学会では会長を務めるなど学会に対しても多大な貢献をしている。</p> <p>さらに、中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」専門委員、「地方都市等における地震防災のあり方に関する専門調査会」専門委員等を歴任して幅広く活躍するなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府 、 文 部 科 学 省
氏 名	しまぎき くにひこ 島 崎 邦 彦
住 所	千葉県市川市
職 業	東京大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、地震学の第一人者として、優れた研究成果を残しているだけでなく、地震に関する教育や普及活動においても積極的な活動を続けているとともに、国の機関など数多くの委員を務めて防災行政に対し有用な提言を行うなどその活動は多岐にわたっている。</p> <p>研究活動においては、地震学を専門とし、活断層や地殻変動の分析などから繰り返し発生する地震の挙動を明らかにし、地震発生の長期予測を可能とするなど、学術成果は極めてレベルの高いものである。さらに、日本地震学会会長や日本活断層学会会長を歴任するなど、学会活動における功績も大きい。</p> <p>また、中央防災会議において、東海地震に関する専門調査会、東南海、南海地震等に関する専門調査会、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会などに携わるとともに、地震調査研究推進本部において、地震調査委員会、長期評価部会などの委員や部会長を務めて幅広く活躍するなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	ふ じ い と し つ ぐ 藤 井 敏 嗣
住 所	東京都渋谷区
職 業	東京大学名誉教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、マグマ学、実験岩石学の第一人者として、マグマ学に関する優れた研究成果を挙げており、富士山などの火山対策など、学術的にも極めて高い成果を残している。</p> <p>また、日本火山学会会長や日本地球惑星科学連合固体地球科学セクションプレジデントを務めるなど学会に対しても多大な貢献をしている。</p> <p>さらに、中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」委員、「火山情報等に対応した火山防災対策検討会」座長代理、「富士山ハザードマップ検討委員会」委員及び「三宅島火山活動検討委員会」座長等を歴任し、また火山噴火予知連絡会会長として我が国の火山活動評価の取りまとめにあたるなど、火山対策を基にした数多くの有用な提言を行い、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
氏 名	たかはし かずお 高橋 和雄
住 所	長崎県長崎市
職 業	長崎大学教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、昭和57年長崎豪雨災害以降、多年にわたり、風水害、地震、火山噴火等15の災害について、災害の初動期における防災機関・住民の対応、都市災害、被災者対策、復興対策の諸課題を長期間にわたってヒアリング、アンケート調査などにより詳しく、学際的に調査して報告書、論文等にまとめ、被災地の災害対策、復興計画、被災者の生活再建等に反映させるとともに、防災行政に対し有用な提言を行った。</p> <p>調査結果を講演会及び各種メディアを通じて報告することにより、自助・公助の重要性や多様な組織等の重要性を提言し、地域や行政機関等のネットワーク形成に尽力した。</p> <p>また、日本災害復興学会や日本災害情報学会などにも所属し、特に日本災害復興学会と日本災害情報学会では理事を務めるなど学会に対しても多大な貢献をしている。</p> <p>さらに、中央防災会議「地方都市等における地震防災対策に関する専門調査会」委員等を歴任し、災害教訓を基にした数多くの有用な提言を行い、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	甲州市消防団
所 在 地	山梨県甲州市
代 表 者	かさほら ひろし 団 長 笠 原 浩
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成21年4月11日の山梨県甲州市勝沼町棚横手山林野火災に際し、5日間にわたり、延べ1,454名が出動し、水利の確保が難しい中、早朝より日没まで急斜面で足場の悪い状況で消火水囊を背負い、延焼防止及び消火活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	篠栗町消防団
所 在 地	福岡県糟屋郡篠栗町
代 表 者	むらせ けいたろう 団 長 村 瀬 敬 太 郎
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成21年7月の中国・九州北部豪雨に際し、12日間にわたり、延べ966名が出動し、水防活動、危険箇所での警戒及び人命捜索等に従事した。</p> <p>特に土砂災害による行方不明者の捜索活動では、再度土砂が崩落する危険性が高いにも関わらず人命捜索を行うなど、人命の安全確保及び被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	佐賀市消防団中部方面隊第三支団
所 在 地	佐賀県佐賀市
代 表 者	とくどみ けんた 支 団 長 徳 富 健 太
功 績 の 概 要	<p>同支団は、平成21年7月24日から26日までの3日間にわたり各地を襲った豪雨災害に際し、延べ401名が出動し、昼夜にわたり積み土のう及び釜段工法の水防活動を行い、被害の拡大を防いだ。</p> <p>また、広報活動、住民の避難誘導などの人命救助活動を行い、死者、行方不明者及び負傷者等の人的被害を防ぎ、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	諏訪市消防団
所 在 地	長野県諏訪市
代 表 者	うしやま ともあき 団 長 牛 山 智 明
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成21年8月8日長野県諏訪市を襲った局地豪雨災害に際し、5日間にわたり延べ1,053名が出動し、改良積み土のう工法等の水防活動を行った。</p> <p>また、住民の避難誘導、人命救助活動を行い、1人として人的被害を出さず、さらに内水排除等の処理を行い二次災害を防止するなど、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	山口県警察災害警備本部
所 在 地	山口県山口市
代 表 者	た ご つかさ 本 部 長 多 胡 令
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成21年7月19日から26日にかけて発生した中国・九州北部を襲った豪雨災害に際し、警備体制の早期確立を図るとともに、広島・岡山・香川各県警察の警察広域緊急援助隊等延べ約350名の派遣を得て、被害の大きかった防府市等を中心に被害情報の収集、被災者の救出救助、行方不明者の捜索、交通整理・誘導等の活動を行った。</p> <p>また、女性警察官等による避難生活中の住民に対するチラシ配布や声掛け活動等の被災者支援対策、被災地内の治安対策を実施するなど、8月3日までの14日間に、延べ約2,060名の警察官等を動員して、県民生活の安全確保と県民の安心感の醸成に努め、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	福岡県警察災害警備本部
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	た な か の り ま さ 本 部 長 田 中 法 昌
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成21年7月19日から26日にかけて発生した中国・九州北部を襲った豪雨災害に際し、警備体制の早期確立を図るとともに、警察本部及び各警察署から招集した県内部隊を投入し、被害の大きかった篠栗町等を中心に被害情報の収集、被災者の救出救助、行方不明者の捜索、交通整理・誘導等の活動を行った。</p> <p>また、被災地内の治安対策を実施するなど、8月5日までの13日間に、延べ約1,080名の警察官等を動員して、県民生活の安全確保と県民の安心感の醸成に努め、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	兵庫県警察災害警備本部
所 在 地	兵庫県神戸市
代 表 者	さ か あ き ら 本 部 長 坂 明
功 績 の 概 要	<p>同本部は、平成21年8月9日から10日にかけて、台風第9号による豪雨災害に際し、警備体制の早期確立を図るとともに、警察本部及び各警察署から招集した県内部隊を投入し、被害の大きかった佐用町等を中心に被害情報の収集、被災者の救出救助、行方不明者の捜索、交通整理・誘導等の活動を行った。</p> <p>また、SUPERポリス隊や生活安全対策隊を臨時に編成し、移動交番車2台を活用した臨時交番を佐用町中心部及び遠隔地の避難所敷地内に配置するなど警戒活動の強化、被災地内の治安対策を実施するなど、9月6日までの29日間に、延べ約9,690名の警察官等を動員して、県民生活の安全確保と県民の安心感の醸成に努め、被災者支援に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	海上保安庁第三管区漁船第一幸福丸消息不明海難対策本部 横浜海上保安部巡視船いず潜水土
所 在 地	神奈川県横浜市
代 表 者 <small>(第三管区海上保安本部)</small>	いげた ひろあき 本 部 長 井 下 田 廣 明
代 表 者 <small>(横浜海上保安部巡視船いず)</small>	こやま ゆうすけ 潜 水 士 小 山 裕 介 (現 羽田特殊救難基地特殊救難隊員)
功 績 の 概 要	<p>平成21年10月25日、漁を終え、八丈島付近海域から帰港途中だった「第一幸福丸」が消息不明との通報を受け、第三管区海上保安本部では、速やかに対策本部を設置するとともに捜索活動を開始した。台風第20号の接近・通過により捜索活動は困難を極めたが、対策本部の的確な漂流予測技術による捜索海域の絞り込み及び関係機関との緊密な連携に基づく捜索活動の結果、転覆・漂流している同船を発見。巡視船いず潜水土6名が身の危険も顧みず、救助活動を積極果敢に実施し、乗員3名を無事救助した。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	海上保安庁第四管区フェリーありあけ熊野沖船体傾斜海難対策本部 関西空港海上保安航空基地機動救難士
所 在 地	第四管区海上保安本部・・・愛知県名古屋市 関西空港海上保安航空基地・・・大阪府泉佐野市
代 表 者 <small>(第四管区海上保安本部)</small>	いちわら まさる 本 部 長 一 薫 勝
代 表 者 <small>(関西空港海上保安航空基地)</small>	むらかみ あきひろ 機 動 救 難 士 村 上 彰 宏
功 績 の 概 要	<p>平成21年11月13日、三重県熊野市沖を航行中の「フェリーありあけ」の船体が大きく傾斜し転覆のおそれがある旨の通報を受け、第四管区海上保安本部では、速やかに対策本部を設置するとともに、巡視船艇・航空機を発動させた。海上強風警報が発令される中、ヘリコプター搭乗の機動救難士2名が乗客及び乗組員21名を吊り上げ救助した後、座礁した同船の残りの乗組員7名に対し同機動救難士及び警備救難艇の果敢な救助活動を行った結果、フェリーありあけの乗客及び乗組員28名全員を無事救助した。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	北条地区コミュニティ振興協議会
所 在 地	新潟県柏崎市
代 表 者	え じ り あ ず ま 会 長 江 尻 東 磨
功 績 の 概 要	<p>同協議会は、平成16年中越地震の被災経験を踏まえ、自助、共助の精神に基づく地域の防災体制の整備に着手、中越地震、中越沖地震など災害を機に地区住民には平素からの防災意識の高揚とコミュニティ活動によって培われた共助の精神が根付き、地区での防災啓発活動のみならず全国各地での講演会、消防庁の防災アドバイザーとして登録し、次代を担う児童や地域住民への防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	社南地区防災アマ無線クラブ
所 在 地	福井県福井市
代 表 者	やまだ たけはる 会 長 山 田 健 治
功 績 の 概 要	<p>大規模災害が発生した際には携帯電話等による通信手段が機能しないことが想定されることから、同クラブは、大規模災害時に通信可能なアマチュア無線を活用し、発生時において地区内の災害状況、避難状況、救助要請等の災害情報を集約する伝達網を構築した。</p> <p>特に、災害時から行政機関等の救助や援護が来るまでの72時間以内に地区民が助け合う「共助による減災」を目指すなど同クラブの画期的な取組みは、防災意識の啓発や地域防災力の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	恵那市手話通訳連絡会
所 在 地	岐阜県恵那市
代 表 者	ふ じ い ふ さ え 代 表 藤 井 房 枝
功 績 の 概 要	<p>同連絡会は、聴覚障がい者の防災無線が聞こえない、避難所が分からない等の現状をよく知る立場から、聴覚障がい者向けに「聴覚障がい者用防災イラストマニュアル」「聴覚障がい者用避難イラストマップ」、聴覚障がい者が住む地域の方向けに「聴覚障がい者災害支援イラストマニュアル」を市との協働により作成・配布し、地域の防災意識の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	紀の川市立荒川中学校
所 在 地	和歌山県紀の川市
代 表 者	やまもと すすむ 校 長 山 本 進
功 績 の 概 要	<p>同校は、学校と地域が子ども達と関わり、共に育っていく取組の柱の一つに防災教育を置いている。</p> <p>昼休みの校内放送を活用し、地域の方と一緒に放送コンテンツを作成するにあたり、防災ボランティアと生徒が作業を通じて自身の防災意識を向上させ、また、普段交流のない地域の大人と貴重な交流の場が生まれ、大人も生徒も共に学び合うなど、地域の防災意識の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	丸亀市川西地区自主防災会
所 在 地	香川県丸亀市
代 表 者	い わ さ き せ い さ く 会 長 岩 崎 正 朔
功 績 の 概 要	<p>同防災会は、PDCAサイクルを導入して、防災教育や訓練・研修などの人材育成、不用品の利活用や地域活動との連携による防災資機材の整備、要援護者への取組や企業・団体との連携などのネットワーク・連携づくりなどについて、年間計画を策定・実行し、問題点をチェックすることにより、活動の改善を行っている一方、スキルを持つ会員を「防災伝道師」として他の地域・団体に派遣し、習得したノウハウの伝授に努めるなど、地域の防災意識の向上に多大な貢献をした。</p>